

東京K芸大学

マンガ学科一期生による

大学四年間をマンガで棒に振る

ルポマンガ







世にある数多の職業でも

「ノンフィクション作家」

「児童外科医」

「ラーメン屋」

「お笑い芸人」

「プロデューサー」

「ピアニスト」

……

どれも特殊であつても

人はそれぞれ

己の人生に魅せられたものに

歩み寄るうとする……



・主人公  
「松本」  
当時10歳は

「湾ビース」……  
ホント面白いなあ……

すげえな……  
こんなん……

おれもいつか……  
こんなの描いてみたいな……

「マンガ家」もしかり——



1998年

うう……  
うう……  
うう……

うう……

う……すび……

マンガに魅せられた





「それ」は

彼らが大学進学  
のタイミングで  
新たに設けられるー

人生を賭ける価値はある  
普通の人と違う生き方が  
どれだけ難しいと言われても  
好きなもので生活できる  
というのならば…



売れてしまえば地位も  
名誉も思いのまま

まるで子供の遊びの  
延長線にあるそれは  
「マンガを描く」ことが  
仕事ー

ー2007年度ー



ここ  
「東京K芸大学」に  
設置される

東日本初なる  
「マンガ」学科がー

＜東京K芸大学厚木キャンパス＞

この物語はー





自らの人生に志高く大きな夢と不満と怠慢を抱え一



殺意と夢と愛情と消極性で大学四年間を締め括る破目になる



無知で無能で無謀な  
松本の大学生活が  
始まった

# 下京K芸大学

マンガ学科一期生による  
大学四年間をマンガで棒に振る  
ルポマンガ

マンガ家になつてやるー！

絶対ッ絶対ッ！



— 4月入学 —





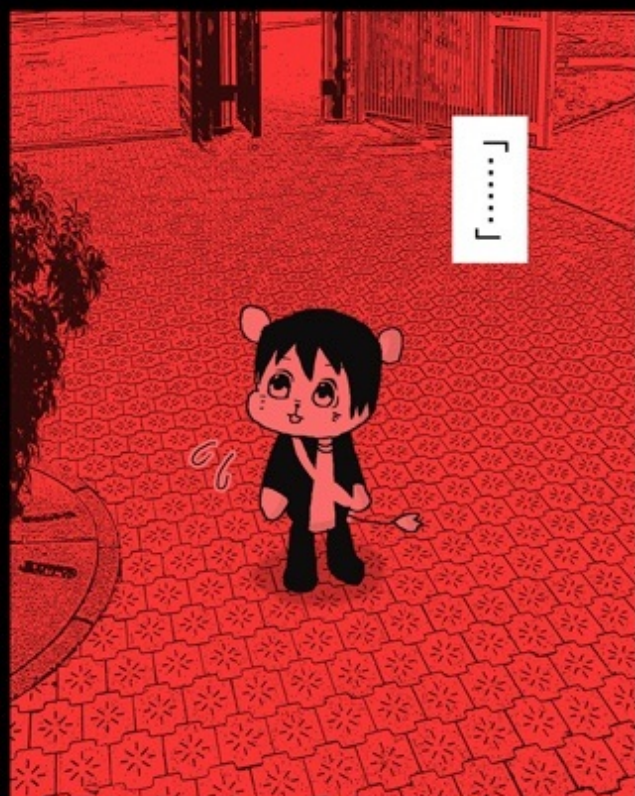
「東京K芸大学…」

「ここが…」



「…大学四年間を…」

「この大学で  
四年間過す事になるのか…」



「……」



松本は

十四歳になる頃から  
マンガを描き始めた

絶対になるしかないな！

夢のようなマンガ漬けの四年間を…

ビッ





人に褒めてもらうのが嬉しくて  
色んな人に認められたくて

なると決めた



絵を描いては  
親に褒められ



絵を描いては  
友人に褒められ

マンガ家になれるよー

お前才能あるよー



「マンガ家になるんだおれ！」  
その熱意を友人は理解してくれても  
語り合うことは出来なかった…

クラスの中心にいるでもなく  
モテるわけでもない松本

人にわかって  
もらえなくて別にいいし！  
今に見てるよ…

「いつか将来大物になってやるんだから！クソ共ッ」  
日々蓄積された欲求不満と孤独感を  
そんな気持ちで埋める学園生活の彼に朗報が入った…！



高校生になってもろくに勉強せず  
賞を取るために出版社へ持ち込みに行く

成績の悪さに親が叱るも  
マンガ家になれば全てチャラになると  
自分のわがままを貫き通す





東日本初なるマンガ学科が  
丁京K芸大学に  
新たに設置されると…！

マ…マンガ学科？！

なんてタイミングで…！

「他の美大へ行くより  
マンガが描ける！」  
親の反対を振り切り  
入学試験を受ける

この大学へ行けば  
マンガも勉強でき…  
志の高い同志と  
仲間になれる…！！



入学式後

学科主催の  
パーティーが行われた

〈学生会館〉



わいわい  
がやがや



普段めつたなことでも  
テンションがあがらない松本でも

遂に仲間をつくれるチャンスだと  
うれしくてしょうがないのだ



わいわい  
がやがや

わいわい  
がやがや

わいわい  
がやがや

わいわい  
がやがや





「熱く語り  
まくろっぜ！」

「マンガ家の卵同士  
その作家リビドーを！」



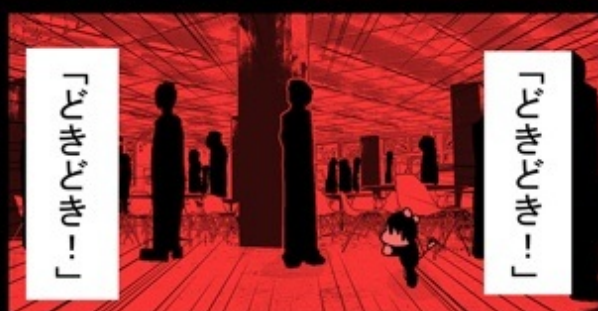
がやがや

わいわい

わいわい

がやがや

がやがや



「どきどき！」

「どきどき！」



おれ松本って言うんだ！よろしく！  
君はどんなマンガ描くの？！

！

あ おれまだ  
マンガ描いたことないんだ





おれも描いたんだよ

おれも描いたんだよ

うんうん

ええ



サークルどこ入るか決めた？

今NURUTO  
すごい熱いよね

私もNURUTO好き！  
やっぱザスケ君かつこよくて

三年後の就活  
きつらしいぜ

...



松本...くんは  
マンガ何が好き？

どうするか  
考えてる？



軽音かな



湾ピースが好き...  
です

えっと  
...

湾ピースかああ！  
おれNURUTOの方が  
好きだけど湾ピースも  
かなり好きだぜ！！

!!!!

「.....」



「マ…マンガを描いたことが無いのにマンガ学科に入学?！」

「ヒース」が一番好きだなー

なんだってあの伏線の回収の仕方とか

天才的だよほんと!

すさまじいあゝ

今一番売れてゝ

「サ…サークルって…」

マンガ描く時間なくなるだろ?！」

うひょひょ!!

「就活で…お前

マンガ家になれない時のこと

もう考えてるのか!?

せめてアシに行くとか…」

「ヒース」

のクライマックスで

一巻の伏線として

でシーンあるじゃ

作家って今のマンガ

何人いると思う?

「マンガ語るのはいいいけど

さっきからお前ただの

感想じゃねえか! オタクか!

いつまで喋ってんだ止まれッ!」

「なんか…」

なんかなんか…

おれが求めてたものと

ちがう…!」

わいわい  
がやがや

わいわい  
がやがや

わいわい  
がやがや

「いや…まあうん  
大学今日始まった  
ばかりなんだし!」

「そのうち仲間が  
突然現れるよ!」







「友達ができねえ…」

お疲れッスー

おっつー

「お疲れ”ってなんだ？  
なんで”お疲れ”て言うの？  
なに流行？バイト先かこは  
…いやんなことより…」

期待がでかかった分

ショックも大きかった…

「全然…志高い  
仲間に会えない」

「高校時代持込だった？」  
「どうすれば担当付くんだろうね」

「賞をとるこの難しさ、苦痛  
お互いに次のマンガ製作に精を出し合い  
競い合う仲間を…それを共有しあえる  
友人が欲しかった」

「この連中はただのマンガを読むのが  
好きな集まり…自分大好き人間じゃない…」

そして  
なにより…

「…？んっ」





なにより  
この四週間  
大学の授業を  
受けて思った  
ことがある…

「やなせー」

「うわ…可愛い  
あの子…うちの学科かあ！」

「……」

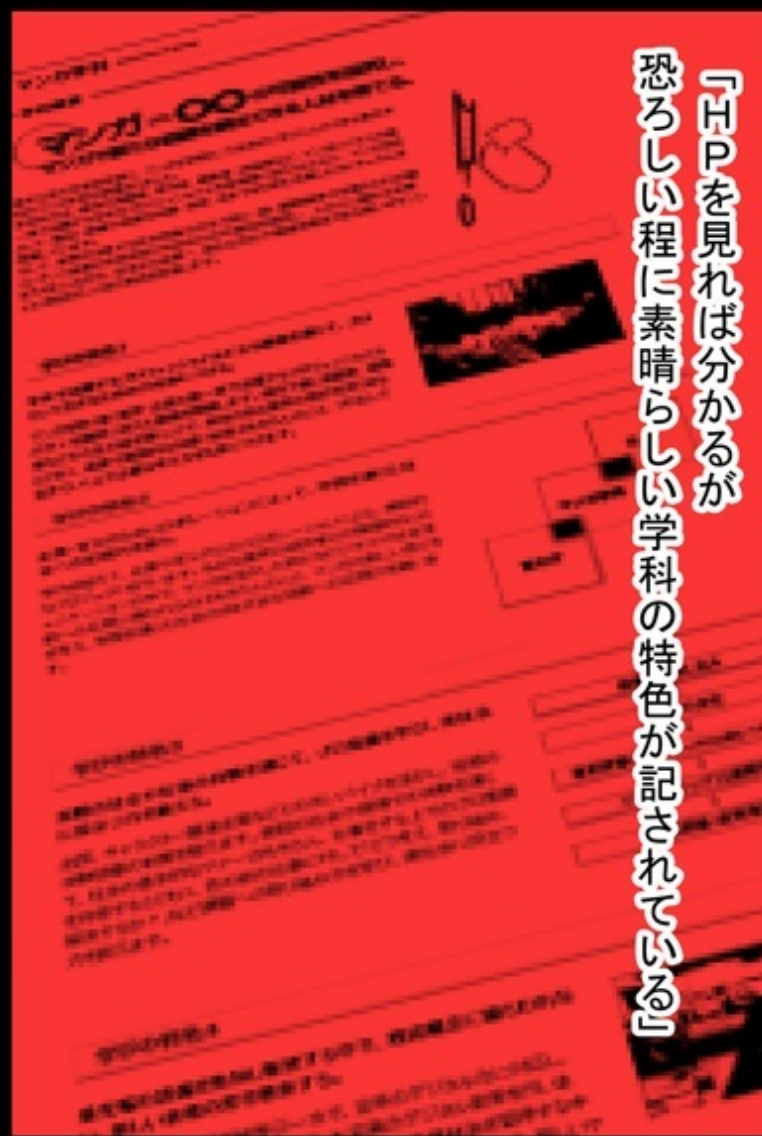
「本当にこの大学は  
“マンガ”を教える気があるのか…?!」



# 『東京K芸大学マンガ学科その概要は 大学でマンガを学ぶ』



「HPを見れば分かるが  
恐ろしい程に素晴らしい学科の特色が記されている」



「一年〜四年までの  
充実したカリキュラム!」

学年	1年	2年	3年	4年
必修科目	マンガの基礎知識 マンガの歴史と文化 マンガの表現方法 マンガの制作工程	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング
選択科目	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング	マンガの表現方法 マンガの制作工程 マンガの市場調査 マンガのマーケティング

「充実した学びの環境!」



「はっぴー言おうー!」



「高校の勉強に比べれば  
容易で苦痛でない授業内容」

「マンガを”描く”  
という環境としては最高…」

…  
…  
…そう

多分専門学校と  
教えていることは変わらない!!!

大学の学費だけすごい!

実家に帰る度  
親父に嫌みしか言われない!

もっとマンガを「面白くする」ための  
根本的な構造、その技術を教えてくれると  
期待していたのに…  
大学に入ってから「ページもノートを消費していない」

(参…このシナリオは何故面白いのかとか)  
(参…受賞作の解説とか…)  
(参…「売れるマンガ」という商品にするための戦略…)

大学が教えている内容は  
そこら辺の書店で売っている  
「マンガ家入門書」と変わらない…!

「マンガ家になる」どころか「賞を取る」ことすら  
この大学の授業を受けていて危ういと感じる…!!  
ほんとうにマンガ家に育つ生徒はいるのか?!

入学手続料	前期(万円)	後期
258,000円	—	250,000円
538,000円	530,000円	8,800,000円
108,000円	130,000円	200,000円
175,000円	175,000円	350,000円
8,005,000円	8,005,000円	8,000,000円
7,000円	—	7,000円
9,000円	9,000円	18,000円
18,000円	—	18,000円
28,000円	9,000円	28,000円
1,001,000円	854,000円	1,895,000円

上記は前期の入学金(前期)と後期(後期)です。

※授業料は別途支払ってください。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。

※授業料は、前期の授業料と後期の授業料の合計です。





まったく成長する  
予感がしない!!!



この大学  
学科は



大義名分という  
建前だけは  
素晴らしい!



だからといって…  
簡単に大学を辞めれる  
わけもなく…



「も、もしかすると…そういうとこに  
有志が集っているかも…しれない!」

「マンガ研究部とかあるかな…?」



新歓:  
サークル…のか…



孤独を埋めたくて  
人に期待をし求めてしまう…

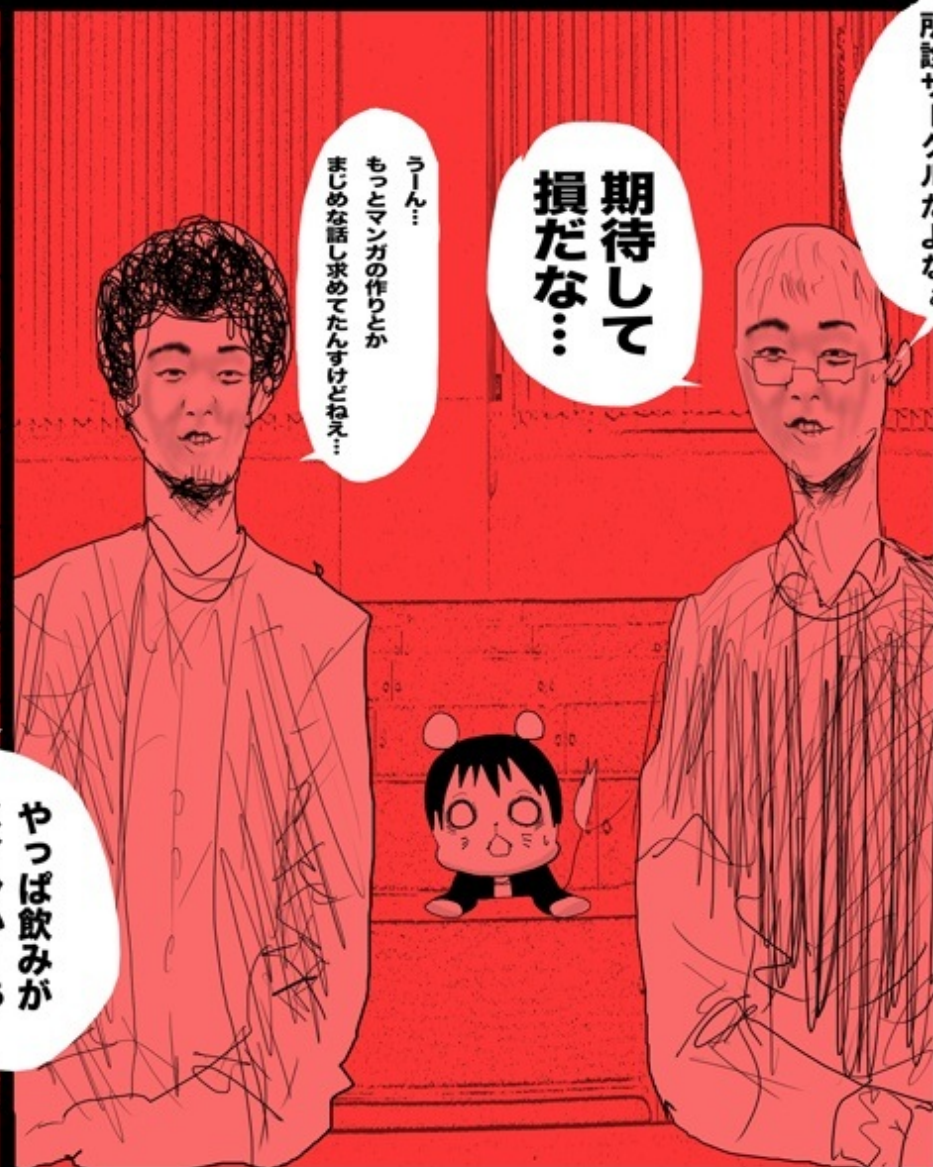
軽音の新歓今日だってよー

金下ろすしないと





はあ……なんだよ、  
期待してたのに所詮……



救いはあった……!!!









「この三人はSNSサイトでK芸大のマンガ家志望として集った仲だと言う」

こういう話をし合える友達欲しかったんですよー!!



もっとマンガを面白くする技巧について話したいよね

持ち込みの話しとかなあ

一浪して写真学科に入学した二年生  
田岡さん(マンガの投稿回数:3)



なかなか見つからないからねー  
本気で目指してる人と出会うのって  
…サークルにもいないわけだし

専門学校から自らのバイト代で  
映像学科に入学した三年生  
佐々木さん(マンガの投稿回数:9)

わかるよー



「そして…」

そんなに  
どうよ?

マンガ学科に  
入学した感想は?



わかりますよー

めっちゃくちゃ

二人は年三百万部を  
発行する天下の  
「少年J」を目指している  
という…おれと同じだ



少女マンガ家を目指してる  
同じ学科の山下さん

いやあ失敗しましたね  
学べる事が無いですよー

!?「学べる  
ことが無い…」!

安易に入学  
しちゃいました

だろうな!おれらみたいに  
他学科に入学したほうが  
勉強できること多いのによっ!

それホント正解ですよっ!

まあおれは  
専門がマンガ関係で失敗した  
からの教訓だけだなー(苦笑)

いやあホント  
みんなやる気あるの?  
みたいな感じでして!  
マンガ学科なのに  
マンガ描いたこと無い人  
ばかりでして!

最初の頃はまだ  
入学したてだからそのうち  
本気の人に会えるかなあつ  
て思ってたんですけど全然  
そういう気配も  
ないんですよっ!

大学の授業もこれまた  
役に立つのが少なくて…  
市販の「マンガ家入門書」と  
同じレベルですよ  
やってること…  
もっと面白くするための  
ノウハウが欲しいのに!





めちやくちや

わかりますよそれ!!!

ほんとう?!

ホント!!!



マンガ家目指したのも  
なんか安易な感じでして...

表現したいものが  
あるとかじゃなくて  
親とか友達に褒めてもらって  
「私はマンガ家になる!」なんて

わかるわかる!  
おれもそんな感じで  
マンガ家になりたいな!  
って思っ

高校の友達とかと  
もつと夢とか語りあいたかったけど  
全然できなくて...

入学するタイミングで  
この大学知って!

私と一緒にっ!

いやあ...  
人並みですよお

高校は持ち込みとか  
投稿してた?!

おれはマンガ家



うんうん

やる気は認めるけども  
二人はまだこれからだなー  
甘いねーっ全然

速に同志と  
巡り会えて  
良かった...  
最高に幸せ  
だった...

お疲れーっ

松本くーん

3時間もマンガを  
語りあって  
解散した...

お疲れっすー

!!!





いやあ  
今日は楽しかったね!

うん!  
うん!

前からね、松本さんと  
話しかかったんだよ?

!!!



えっ...いいいやあ...  
お、おれもだよウッ!

いやいや前から松本さんと  
友達になりたいと思っててね

松本くんて  
一匹狼みたいだなーって

学科の授業受けてるとき  
よく見かけちゃうんだけど

この人もしかしたら  
他の人と違うんじゃないの  
かなって!!

「山下さん...」

やっぱり違った  
なーって今日  
断言できたよ!

!!!



遂に同志に  
巡り会えたって  
嬉しくてね!

「おれの  
こと...」

あッ

「好きなんじゃないの  
まさかこれええええ!」

...はいっ...

ねえねえ!

メアドと  
番号交換してよ!







七月に入りー

高校の頃に比べたら

テストどうだった？

余裕すぎるねっ！

何倍も楽な講義の単位を  
確実に取得し

学科のメンツの  
怒りを抑えつつも

また今日サークルの  
飲みだよー

おれもあれは  
超燃えた！！

あの展開が  
最高なんだよねー！

飲みしか  
参加してないくせにー

「夏休みを迎える」

PPPPPP！

着信

「山下さんー」

十四時か！  
やる気でないけどネットでも  
しますかなと

まーあ！マンガ描く時間が  
とれていいんだけどさー

夏休みの課題が  
デッサンしか出てないなんて！  
中学よりも楽なんじゃないのかー！







やっぱ…一生のうちに  
ずっと本棚に置いてもらえるような  
私みたいに 人の人生を  
変えちゃうようなマンガを  
一作でも描いてみたいよね…



いつか自慢させてよねー  
私の大学の友達が少年Jで  
連載してるんだよーって!







絶対に賞を取る……!!  
この夏休みで最強のマンガを  
完成させてやる……!!

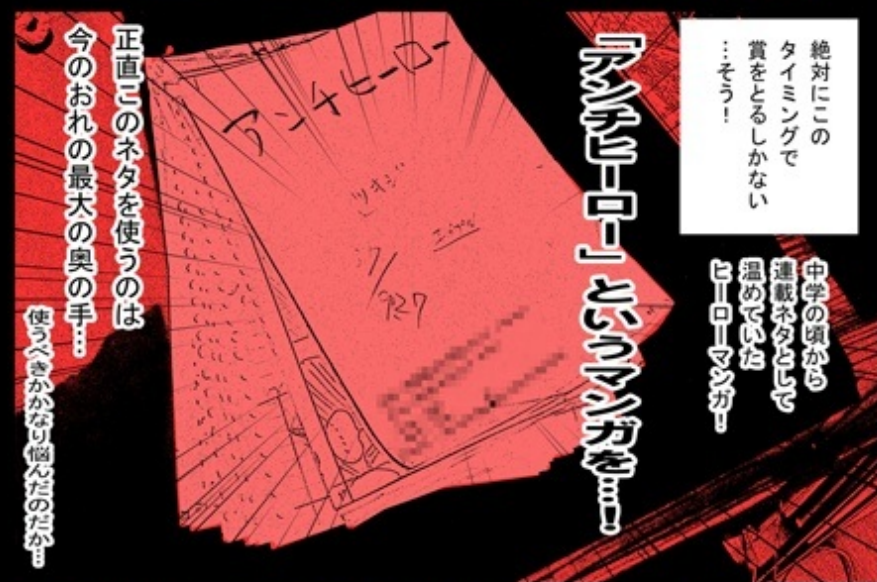
あ、  
ちよっとテンション  
あがりすぎちゃった!



そであわよくば  
山下さんにちやほやされたい!



狙うは9月末までの  
『少年J』の  
『出塚賞!』  
数多くの有名作家が  
皆この出塚賞から輩出  
している……!!



『エンターロー』と云ふんぞ……!!  
正直このネタを使うのは  
今のおれの最大の奥の手……!!  
使うべきかなり悩んだのだが……!!

絶対にこの  
タイミングで  
賞をとるしかない  
……そう!

んじゃネーム  
がんばってね!

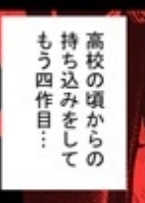
中学の頃から  
連載ネタとして  
温めていた  
ヒーローマンガ!



高3の頃から  
プロットを進めてたんだ  
失敗は許されない……!!



もうあのボツを  
食らった時の絶望感  
こりこりなんだ……!!



高校の頃からの  
持ち込みをして  
もう四作目……!!





一週間後――

卅一

71





いや…思い出せ  
大学の連中を…

思い出せ…！  
山下さんを…

佐々木さんを…

田岡さんを…

一年で…  
賞を取って…  
デビューしてやるんだ…絶対…！

八月上旬  
ネーム三十一ページを気合いで完成させ

ただひたすら…

黙々と原稿用紙に下書きを入れ

ペン入れに入っても、  
人物や背景のデッサン狂いを直し

一コマ一コマ…  
湛然に気を抜かず

効果やトーン  
ペタに修正も精密に…

ただマンガの完成を目指した

ここからは  
ただひたすら…

寝る間も惜しんで  
ただひたすら…

机にかじりつく  
孤独な作業

うーむ…  
次のマンガか…

カチカチ  
カチカチ

…っしや！

はい二十二です

そ…

へー学生さん？



夏休み明け  
9月末一

<<<...  
<<<...



「正直自信はある...  
既に『少年J』編集部に持ち込みの  
約束もしてある...明日十五時だ...!!  
...あとは神に祈るだけ...」

「遂に昨日...三十一ページの原稿  
『アンチヒーロー』を完成させた...!!」



やけたなーお前!

おはよー

お前太ったな!

遂に...

<T京K芸大学 厚木キャンパス>



さ...?  
佐々木さん??



佐々木さん!

佐々木さん  
お久しぶりです!!

「ふ...やる気が無いなら今のうちに  
全員辞めてしまえ!みてろよ...  
おれはお前らとは違うつて」をな...!!  
あ...!!」



「後期に入り既にマンガ学科には  
大学を辞めた生徒が四人いるらしい」







次の日

<S社 週刊少年J(ジブジブ)編集部>





はっはっは...

これ..  
めちやくちやつまんないな

...もつとき  
マンガ読んで勉強してさ

マンガ以外のことも  
勉強してさ あとは...

あと主人公はどれ？  
これ？え？こいつ？

マンガって  
売り物なんだから  
読者を楽しませないとき！

意味無く  
大ゴマ  
使いすぎ

あと...これ  
手抜き？  
内容薄いな

マンガ描くの初めて？  
あ二回目だっけ？

うーんまず絵が..  
相当練習しないとね





「アンチヒーロー」が  
ボツになった…



まるで雲の上の存在で  
神の様な存在

「賞をとる人」  
「デビューできる人」…  
「マンガ家」なんて



それなりに…  
ハングリーに生きてきた…  
死にもの狂いに…

中学時代の頃から  
温めてきたネタは数分でお釈迦に…



いくらマンガを描いても  
賞をとれず、  
編集者にも見向きもされない現実

「マンガが好きだから…」



理解出来なかった  
自分のマンガの悪いことが  
自分に足りないものもわからず  
苦しいだけ

受賞者のマンガを読んでも  
何が面白いのかわからない



きっと人と違う生き方をしてる人は  
並大抵の努力じゃ成れないと思う

自分自身…、砂漠で水を得るように  
必死に悩み苦しんだ…





マンガを描くことは  
大変……

平気で一ヶ月や三ヶ月  
半年くらいの時間を  
費やすからだ



今回なんて半年以上  
プロット構成ネーム作画  
時間をかけた

だから  
「このマンガが賞を  
取ったら……」とか

「このマンガで  
デビューを飾るんだ！」  
とか

自分の夢や希望たちを  
たくさんふんだんに  
作品に注いでしまう……



p p p p p p p p p p  
p p p p p p p p p p



聞いたか？

?! 山下さんから

おす！

着信  
田岡さん  
090268453654

p p p

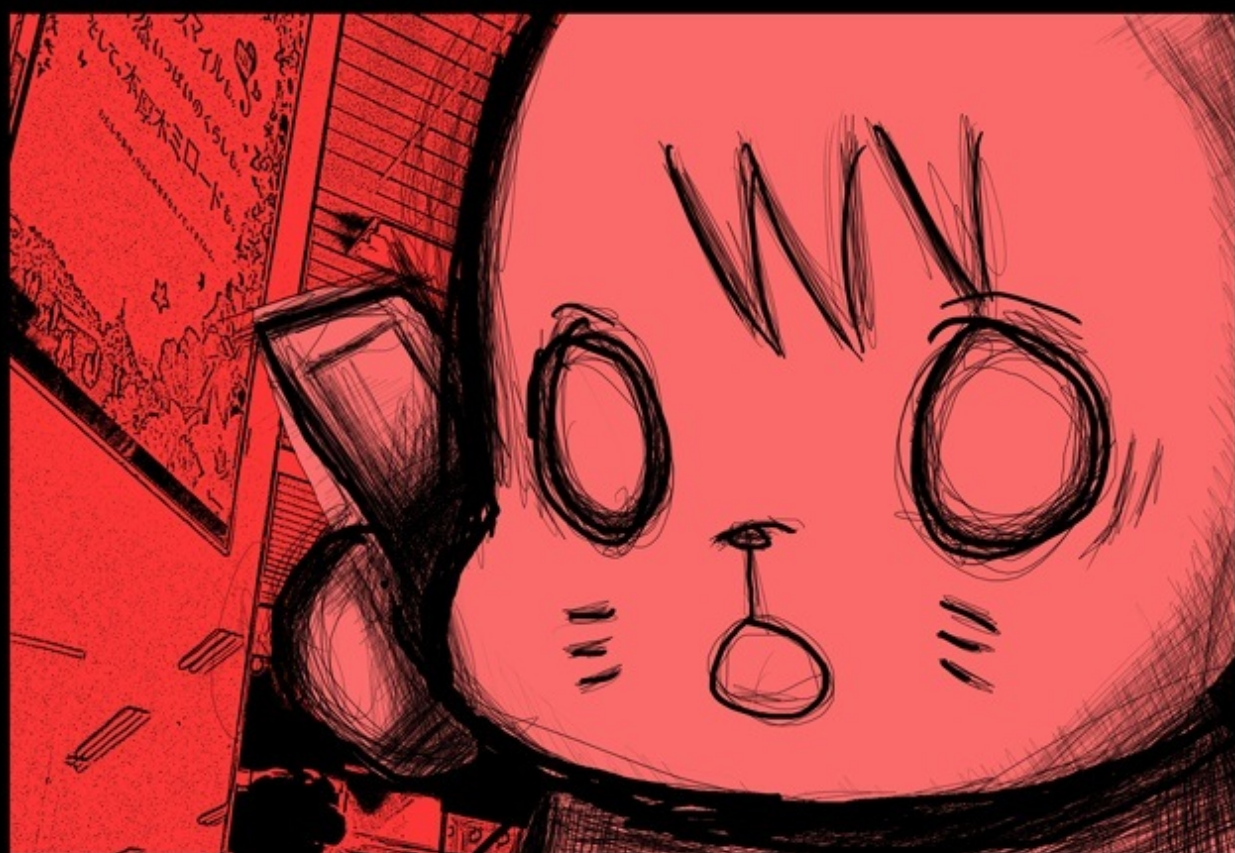


だから  
編集部に足を運び  
ボツになった瞬間は

失恋のような  
感覚に近い……

心を満たしていたから。  
そのマンガに夢や希望をたくさんつめたから  
ボツになった瞬間に、満たしていたものが  
パチンッ と消え去り、絶望が広がる……心の支えがなくなってしまう……







…え？

「...」

まじで...  
すか?...うそ...

月例賞で  
入選だつてよ!

明日発売の  
「少女コミック」に  
発表されるまでは  
告知しないでくれてな  
言われてたらしくてな

なんか夏休み入った頃に  
編集者から連絡あったんだつてよ!

[illegible]

三三三

ピッ  
ピッ

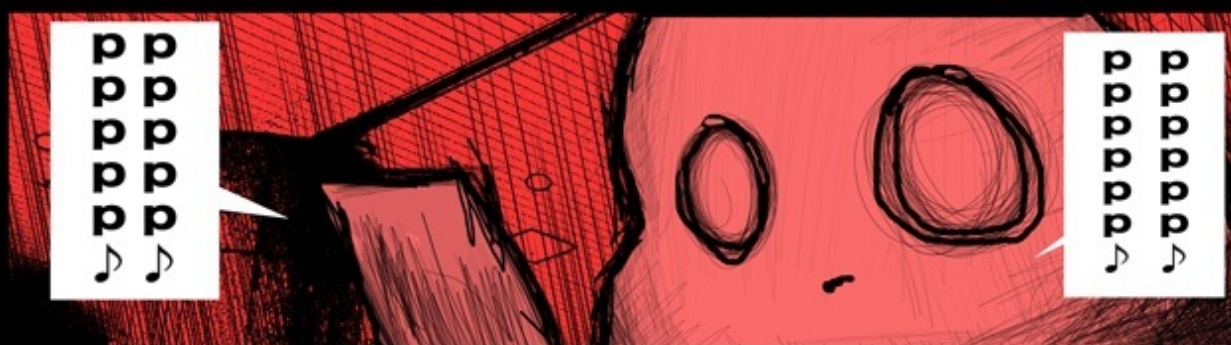
「うそ…受賞…  
しちやったの…？山下さん」

১৫

え……？夏休み  
 入る頃って……  
 ……まさか……あの  
 電話くれた……日？  
 ……だったりして？

p p  
 p p  
 p p  
 p p  
 p p  
 p p  
 p p  
 ♪ ♪









山下さんの  
存在が

遠く、  
脅威に感じる

おっ

<12号館廊下>



恒例のマンガ会議も  
グダグダになり  
山下さんも来なくなってしまい…



おはよ!

同じ年でこの差  
声をかけられて  
目が合っても

あ…はよう



賞をとるための  
マンガどころか

学祭で行われた  
学科で作る冊子に載せるための  
八ページのくそマンガでさえも  
思い通りに描けず



ただ  
気まずい  
だけで…



マンガのネタを  
考えることも

日々の大学の授業にも  
ただ苦痛なだけで…



もう十二月  
終わるのかー

光の速さで  
後期は終わる

後期って  
前期より  
短く感じるよなー

さっぴー



この一年で  
知ったことは

自分の無力さと

賞とる前まで  
どのくらいマンガ描いてたの？

えっと  
中学の頃から投稿してまして  
ネームだけなら…

一人の才能をもった  
生徒がいたということ

…七十本くらいです  
投稿は八回ですね

いいねー新作！  
これならデビュー  
できるよ！

っほ…  
本当ですか？

うんうん

一期生の中に

KOGEI



四月ー  
二年生になった

最低でも  
この二年、三年のうちに  
賞を取らなければならない

＜図書館＞

「確実に…」

「この二年間で  
……………」

「もし大学生のうちに  
受賞出来ないようなら  
きつぱり才能が無かったと  
諦めざるをえない…」

「《大学生》  
人生で一番時間のあるとき…  
今出来ないようなら  
社会人になってもどうせ  
忙しい・時間が無いとか言っ  
て結局言い訳して終わる…」

「仮に四年生になっても賞を取れず…  
ただマンガ家を目指していたとしたら  
馬鹿もいいところだ」

「人生を賭けると言っても  
ただがむしやらに行動してたら無謀もいいところ…  
自分のわがままを貫き通していいのは時間がある今だけだ…」

春休みは車の免許を取るなり  
新作のネタ作りに専念していたが何も思い浮かばず

「しかしこの大学  
どれだけ春休み長いんだ…」

「一月の頭から四月の中旬まで休みって…  
高校までで言ったら三学期が無いのと同じだぞ…  
親父には嫌味しか言われねえよ…」





そもそも受賞されたマンガって  
ありふれたパターンで  
つまらないんだよね！

何故あれが三十万、五十万、  
百万円なんになるんだ…



がやがや

がやがや

がやがや

がやがや

そんなことより…  
新作のネタを考えねば…



新入生が入って  
大学に活気がある

おれも満ブイス  
好きなんだ！

今熱いよね！

マンガ学科に入った  
二期生達…これが人生の  
汚点となるだろう…



見たことの無い  
構成・ストーリー…伏線・絵柄！

ひとコマひとコマ  
秀逸なマンガを！！



このままじゃ  
マンガがマンガで  
終わってしまう

読者の心を揺れ動かす  
新しい絵を！



もつと人の心に響きのような  
衝動を走らせるマンガを

感情をえぐられるような  
感動を



誰も見たことがない  
最強のマンガで

「出塚賞」を  
リベンジしてやる！





6月  
山下さんが  
雑誌デビュー決定する

えへへへ…  
どうもどうも

すごいね  
デビューだよ!

わいわい

来週の  
いつ発売?

7日  
だって!

わいわい

わいわい



「おれが春休みから  
こうして悩める間に」

あたしも  
がんばらなきゃ!

やる気だー!

私も!

わいわい

「山下さんは  
ネームを仕上げ  
原稿をあげ  
誌上デビュー…」

わいわい

絶対  
読むからねー!

山下さん!



きやーっ!  
おめでとー!

すごいー!  
やったね!

〈12号館〉



「正直春休みは  
山下さんのことで  
頭がいっぱいだった…」

山下さん…

「彼女とわかりあえる気がする」

彼女にどうにか振り向いてもらいたい…

「でもおれには  
実力が…」

「自信がもてない」

「もう半年以上  
彼女と話してない…」

「賞すらも取れないおれが  
振り向いてもらえる資格もなく」

こいす  
こいすー

あの時夏休み前  
電話をくれたのは  
受賞の気持ちを  
伝えたいからだったと思う…

青信  
山下さん  
09056845664



「もう…  
プライドも恥も  
捨ててやろうと…」

一週間後

〈コンビニ〉

ネーム読んで欲しいって？

〈12号館〉

誌面で読んで  
決意した…

ほ、本当に載ってる…  
…すげえ…

山下さんの  
マンガを

どれどれ…

見せてみなさい…

マンガ学科  
主任教授







おれにはマンガで  
表現したいものがない……

いつもその場で  
自分が描きたいものを  
殴り描きしていた……  
自分の武器というものが  
判らない

この一年は  
確実に賞を取るため  
多くの事を勉強しよう

それから「郵便局」「ラーメン屋」  
はたまた「ロズ・ニランドのキャスト」

勉強になると思いうる多くのバイトをするも  
正直何がためになるのかわからず  
時間の無駄だと感じ全て二ヶ月弱で辞める

で

ネームを見せて

これは何が  
描きたかったの？

「出版社への  
持込や投稿と違い  
ネームの段階で選別を  
受けるの(だけ)は  
学校の利点だった……」

……え  
えつと……

シナリオの本を勉強して  
自分なりにアウトプットして  
ノートにまとめて

一日二時間は必ず  
人体デッサンを繰り返す

学科の課題をこなし

課題のせいで  
自分のマンガを描く暇ねーよー

なー

取得できる単位は  
今のうちに確実に取得し

ヌードデッサンで初めて  
女性の裸を肉眼で見たのがショックで……

(山下さんのを……  
見たかった)

十代でデビューという  
人生計画という夢が破れて……

いつのまにか  
二十歳になっていた……

過去の新人マンガ家読みきり  
増刊号を  
ネットオークションで買占め  
何故これが掲載されたのかと  
研究を重ね  
月例賞の編集者のコメント欄  
マンガ家先生のコメント欄を  
熟読し

映画も一日最低一本は見えて  
何が面白くて  
何が面白くないのか研究し  
何ヶ月も時間を使い……そして





編集部でも  
結構評判いいのね

こないだの  
増刊のアンケートも  
新人で一位だったし



連載を狙った  
マンガって作りで  
ネームまわそうか

もう次のネームはさ



うんうん…  
面白い…!!

面白いんだけどさ…  
あくまで  
構成力で見せてるんだよね君のは

《S社》



で？

＜12号館＞



君はもう  
そういう段階だと思うよ

れっ…  
連載…!!  
…ですか…?!







深夜四時



ZZZZ...

ZZZZ...



ん...

賞品で...  
はやく...

ZZZZ...  
むにや...



プッ

もしもし...

松本です...



.....



?

...もしもし?  
お久しぶりです  
佐々木さん...

どうしたんですか  
こんな時間に...?



pppppppppp

pp  
pp  
pp  
pp  
pp  
pp  
pp  
pp



おえ...  
ささ木さん?!

なんだ...  
こんな時間に...?

pppppppp

pppppp



.....

おれさ…  
どうすれば  
いいかな？

え…  
ど…？

どうしたん  
ですか？

えっ…

ま…まじですかあ…  
……うう……

また…

持ち込み  
失敗しちゃって  
よ…

もうさ…  
どうすればいいか…

わかんないん  
だよ…

なんかもう…  
…さ

生きてるの…  
辛い…  
かも…

「佐々木さん……」

マンガ描いてても  
何も楽しくないし…

苦しいだけだし…

何も報われ  
ないしよ…

「いえ…  
わかりますよ……」

「……」  
「……」

「おれも……」  
「……」

……





何言ってるんですかッッ?!

?! なッ...?!



マッ...マングで賞とって  
マシガ家になつて!!

諦めちゃダメですよ!!  
がんばりましょうよ!!



「見返し  
ましようよ!」

「周りの連中  
ギャフンと  
言わせましょうよ!」



...死んじゃおうかな...



おれも辛いです苦しいです！  
でも今日まで佐々木さんも

「がんばって  
きたじゃないですかっ!!」

……冗談だよ……

……諦めるわけ……ないだろう……  
……このおれが……ははっは……

ちよつとおちよくりたかった  
だけだよ……はは

こんな時間に悪かったな……  
……また電話するわ……

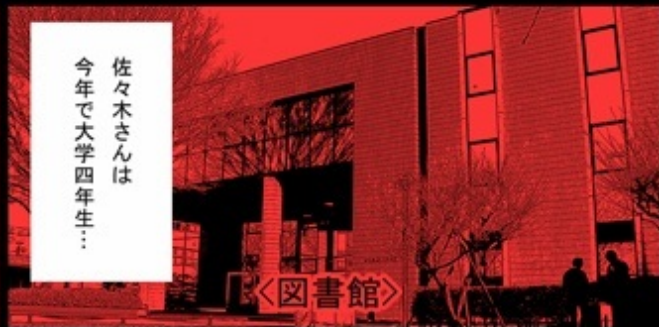
……そうか……



……おれも……  
今やれるときにやろう……  
確実に賞をとろう……



佐々木さんは  
今年で大学四年生……



ただ自分が  
やりたいように  
マンガ家を目指して  
許されるような  
年じやなくなるんだ……



まさに今  
描くしかない……

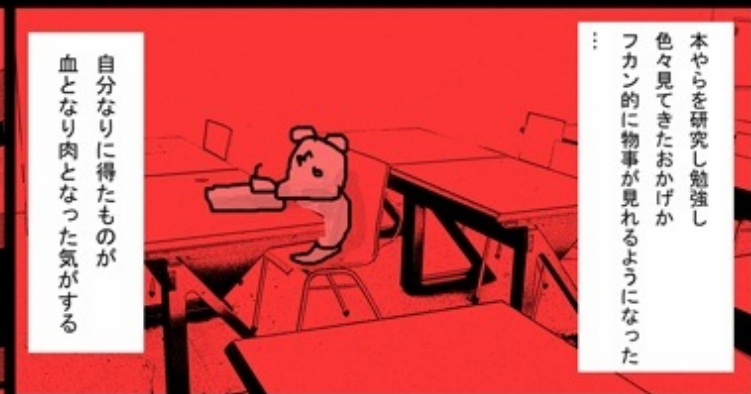


後期は授業がかなり  
少なくなった……  
もう週二でしか来なくて良い

後期になって  
二ヶ月が過ぎる……



自分なりに得たものが  
血となり肉となった気がする



本やらを研究し勉強し  
色々見てきたおかげか  
フカンのに物事が見れるようになった  
……

次のネームは  
一切の妥協をせずに  
腑に落ちないところは  
洗いざらいしてみよう

今まで培って学んだものを  
新作のネームに注いだ……



カリカリ……





面白いよ!



まだ直すところは多いけども

おれもこういうの描いてみたかったんだよねー

マンガ学科  
助手  
木内さん

木内さんは学科の教授でも講師でもなく  
助手さんなのだが、専門学校で  
教師として活躍していたという経歴の持ち主だ



...ほッ



ほんとですか?!



「今度から木内さんに  
ネームを見てもらおう!」

「後期はこのネームを確実に  
面白くするためにがんばろう!」

こうして、ネームを自分なりに直しては  
木内さんに見せてはを繰り返し...  
あっという間に大学二年は終わろうとしていた...



おれは  
好きだなー

新ネームを  
別の教員の方に  
見せてみるも  
高評価!

「かなり嬉しかった!」





三月二十二日学位授与式(卒業式)  
そのメールは  
佐々木さんからだった...

三月二十二日

ヴァン...  
ヴァン...



...佐々木...さん...



「絶対に賞を取ってやる」

四月ー  
大学三年になった



このタイミングで  
マンガ学科教員

最終段階に入ったネームを  
木内さんに見てもらおうとするも

木内さんも  
異動の対象に…

数名が人事異動を  
行われる

<12号館>

どうなっているんだ  
この学科は…  
なんで学科誕生三年目で  
早くも教員入れ替えなんだ…

教員間で何があつたかは  
知らないが  
大学への不信感  
募るだけだった…

いまさら気づいたことだが  
大学で教えている授業より  
ネームの添削をしてもらうほうが  
千倍勉強になる…

しかしそれなら無料で編集部へ  
持ち込みが出来るし  
なおかつ雑誌の色にあわせた添削を受けれる  
…大学費うん百万…その価値決して見合う  
カリキュラムでは決していない…

おれも湾ブース  
好きだわー

今熱いよなー!!

「ああ…三期生の生徒たち…  
ようこそマンガ学科へ……」



三年になったら  
大学の授業も  
ほとんどない…

山下さんも  
学校で見かけることが  
ほとんどなく  
なってしまった

山下さん  
元気にしてるかな…

おれも早く  
賞をとらないと

さすがにこの時期だ学科の連中も就活を  
はじめている頃だと…思ったが

うちの学科の連中は  
皆遊びほうけて  
いるようだな…

私さ今マンガ  
描いてるんだけどね

やっぱ遊びは  
大切だよーっ！

やっぱマンガの表現とか  
ネタって日々の  
出来事から生まれて  
くるっていうかー

わかる  
かもー

わかる  
わかるー

「何を言ってるんだこのくそアマ！  
遊びは大切ってそれはお前がマンガを描くために  
遊んでる訳じゃないだろ!?」  
マンガのために遊んでるみたいに言うな!!!  
ろくにマンガも描いたことないくせに  
なんで誇らしげに自慢してるの!?  
先人の言葉をただのバカの二つ覚えのように言いやがって  
何様じゃ!!!  
おれなんか遊びが大嫌いじゃ!!!  
マンガ以外のことをしているとイライラして  
しょうがないんだよ!!!  
人と一緒に何しても生き抜きしても全然生き抜きもされなくて  
マンガのことを優先しなきゃと  
全てが時間の無駄に感じてしょうがないんだよ  
早くマンガ家になろうと思えば思う程遊んでる場合じゃない!  
そもそも「遊びは大切」てのは作家の先生が  
表現の幅を広げるために使う言葉であって  
お前ら表現の限界に到達するほど生きてるのかよ!!  
マンガ描いてるのかよ!?  
本気でやるかすっぱり諦めるかどっちかにしろクソツタレ!!  
中途半端な野郎がマンガ家なんて軽々しく目指すな!!!」

ちなみにこの頃  
マンガ仲間の  
田岡さんは

もうマンガ家を  
志すのを辞めて  
素直に  
就職活動を  
しているらしい…





二週連続の  
巻頭カラー

信じられないことに  
二週に渡る前後編で



山下さんが遂に  
「少女コミック」本誌にて  
デビューを飾る



おれには絶望しか  
与えなかった……



木内さんも一緒に  
何度も添削してくれた  
ネームなんだ……  
全力で作画せねば……  
今年が最後のチャンスだし……

正直原稿に  
作画してゆくのは  
緊張する……



半年に渡って試行錯誤したこのネームを  
遂に原稿に作画する時が来た

以前木内さんに「賞を取るなら  
持ち込みより投稿の方が早く  
取れる」という事を聞いた



下書きが全て終わった六月の中旬  
自分が何故マンガ家を目指したのか  
それを思い出すことになる……

画力も向上したし、キャラも  
コマ割も台詞回しも拔かりはない

そして……怒涛の、孤独で、長い長い  
ただひたすら絵を描く作業がはじまった……



「出塚賞」は半年に一回と  
結果が出るまで遅いので月例賞に向けて  
原稿を投稿することに決めた……  
もう意地を張ってる場合ではなかった……





六月中旬―  
「湾」の連載が終了する



おれや山下さん…

多くの読者たちに  
マンガ家を志すキツカケを与えた  
マンガの幕が閉じた…

五億部という異例を達成した  
伝説的なマンガ…

いつかこの作品を抜くと  
大きな野望を描き はや十二年…  
多くの夢や希望を与えてくれた  
作者「小田先生」に対する  
この気持ち―



応えたい―

六月末―

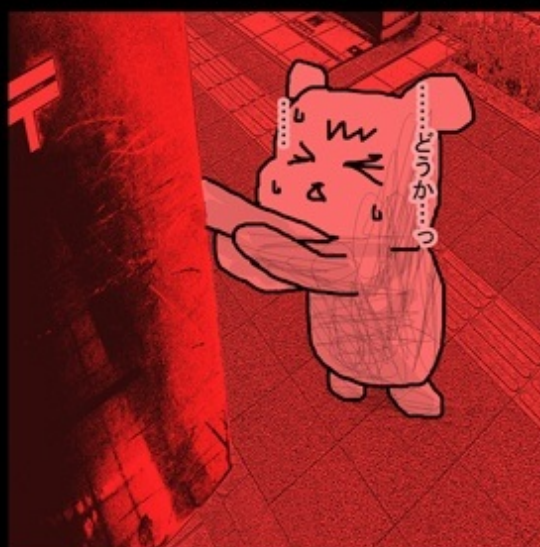




なんとか締切日に  
原稿を完成させる…

作品タイトル、その名も  
「アンチヒーロー改」!!

………  
………  
………



………  
………  
………

「どうか…  
…どうか皆様…  
お願いします…」



今日中にポストへ  
投函せねば…

………  
………  
………



喜びに浸る間もなく  
原稿を封筒へ入れて  
ポストへ…



夏休みに  
入った…

………  
………  
………



結果発表は  
九月中旬発売号の  
「少年J」に発表される



正直何も  
する気力が無い

原稿作業を  
死力で尽くした  
反動だろう…









そして九月中旬  
結果発表の日がきた.....





少年J発売日兼  
月例賞結果発表日

うっっ  
緊張しすぎて吐きそうだ……っ



「少年J」まで……  
あと数メートル……

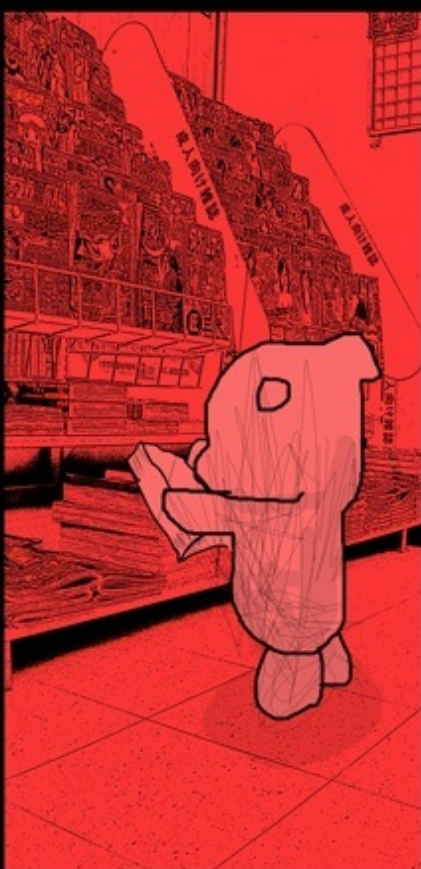


さあ

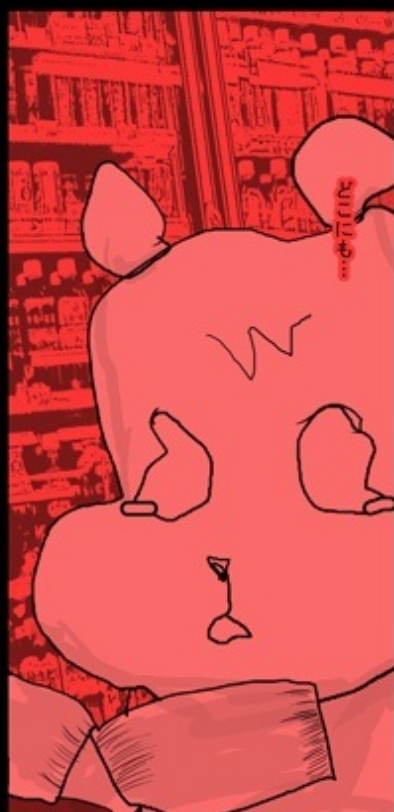
ドキドキ  
結果発表の  
ページを見るぞ……



ふう……  
ふう……







佳作にも...

最終候補にも...

最終候補  
一步手前にも...

名前が無い...



この一年間の  
努力と希望の結果が...

今全て  
幕を閉じた...





田岡さん……  
お落ち着いて

いつになったら就職  
出来るんだ  
いつになったら  
就職できるんだ  
あうふううふうふうう

つ次があるって！

なんでも採用してくれないのあ……  
紙切れだけでおれを判断して  
試験さえも受けさせてくれない……

会社に役にたちそうにないかもしれないからって  
おれを全否定しやがつてくそがああああああああ

エントリーシート書くだけで  
なんであんな  
辛い思いしなくちゃ  
ならないんだよおべべ  
ただ働きたいってだけじゃ  
ダメなのかよおおべべ

新卒として就活出来るのは  
人生でたった一度きり  
なんだぞおおええええべ  
べベマンガなんか……  
マンガなんか投稿してないで  
もっと早くから  
もっと早くから  
就職活動してればよかった……

どれだけ賞を取ることが  
難しいか……

就職内定率、6%で  
どうなってるんだ  
うちの大学何パーなんだよおおお

就職活動なんて比じゃないだろう……  
一体何%の人がマンガ家を目指してなれるのか

全国各地から毎月賞に応募する人  
中学高校大学社会人もきつと今日も  
何百人が持ち込みをしに  
出版社に足を運んだらう

二十代後半フリーターになって  
夢を諦めない人もいる

アイデアも思い浮かばず、  
面白い」がなんなのかわからなくなつて

ただ孤独に自分を信じるしかなくて

やっとの思いでひとコマひとコマ命を吹き込んで一年費やして  
描いたマンガを編集者にボツにされて……



おれは  
この大学生活



酒も煙草も  
ギャンブルも  
やらないで

なにやっても  
楽しくなくて…  
辛いだけで…



好きな人には  
声をかける  
ことも出来ず

もしかして



ほんとはおれ……





もう嫌だ



「てめえら売ってやるよ!!!」

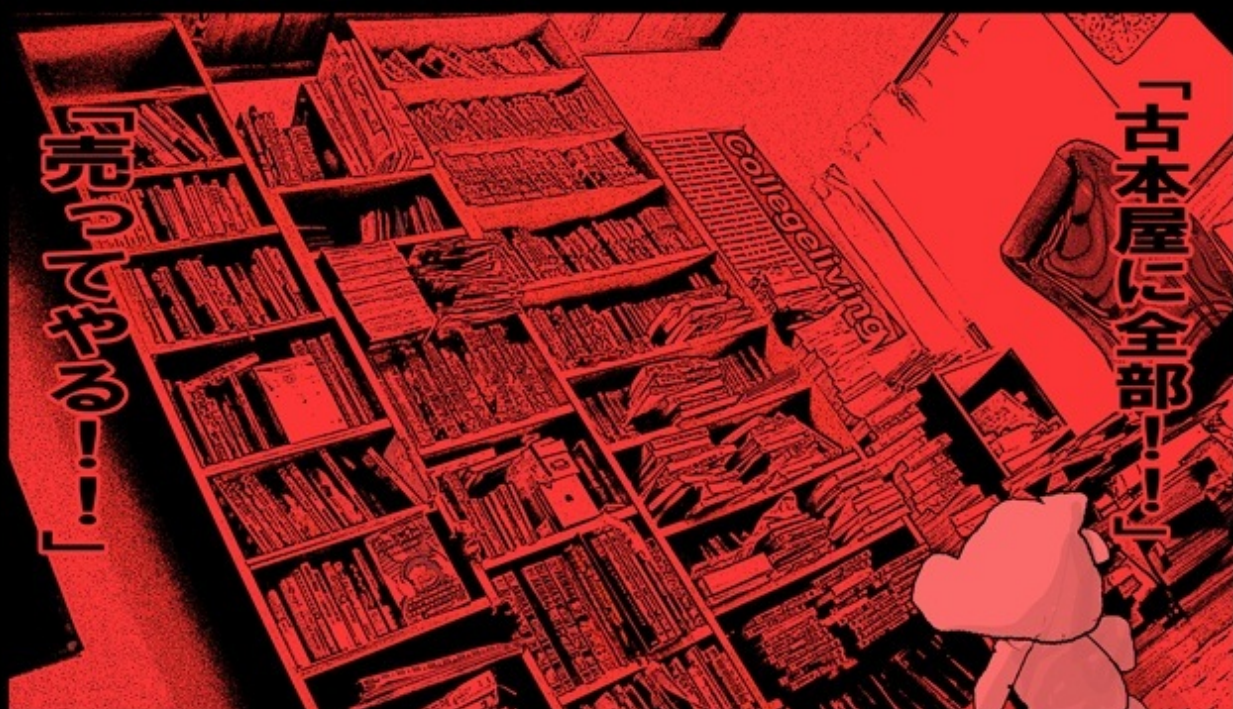


「大学もつまんねえ!!!」



「マンガなんて大嫌いだ!!!」

つまらない人間だったのか？



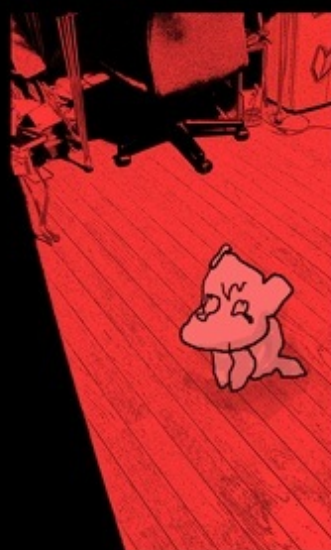
「古本屋に全部!!!」

「売ってやる!!!」





ただ泣いた




…自分の中にあつた大切なものたちまで無くなってしまったようで……




子供の頃から自分の小遣いで初めて買ったマンガも全て売ってしまった……





何もやる気が  
起きない…


ただ途方に暮れる  
毎日…



就職活動なんて  
する気力もなく  
親父には勘当される

まさかの  
マンガ学科の連中が  
焦って就活してるというのに

おれはもう  
ダメだ




…  
佐々木さん…

今なら  
あなたの気持ち  
わかります…



…  
そういえば



ここで昔  
みんなと

マンガを  
語り合ったな……





全て失ったはずの

おれの中に  
唯一残ったものは

山下さんへの  
気持ち…



山下さん…



…

家に帰ると  
自然とペンを握っていた

彼女への  
想いを…

形にしたい…



この想いを…  
マンガにしよう



三月二十三日  
学位授与式(卒業式)

KOGEI

今日……  
大学を卒業  
することになる

ちょうど「少年J」の  
発売日であり

おれが描いて投稿した  
マンガの結果が  
発表される日でもある

……もう……何も恐れない

いつものように  
少年Jを手にとった

連載決定  
おめでとー!!









マンガが好きだからに決まってるじゃん



まあおかげ様で  
WEBサイト製作する  
会社に就職出来たよ



てか

すげえなお前

いやいや



お前就活  
やばかったんだって？



お前卒制もPCで  
アニメ作ってたしな！

そうなんだよ！  
おれのこの四年間で  
一度もマンガ  
完成させたこと  
ないからね

（笑）  
よくお前  
卒業  
出来たよな  
ほんと！  
なんでこの  
学科に  
入ったんだよ

そりやお前



はは  
はは





ツぎに  
なああああああああ

ふぎけん  
てめえならあ  
ぶつ殺すぞ!!  
ああ!!?!?

!?

なにがっなにが  
マシガ好きだてめ

マシガ好きってなんだヨ!!  
なんだんだよお前は!!

なんだこの大学は!!  
てめえら全員  
死ねよツツツ  
ふぎけんツツツ  
ぜけるよ!!!



大嫌いじゃ!!  
気持ち悪いんだよ  
オタク共がああッ  
世間の恥なんだよッ

死ね!  
死ね!  
死ねよッ!  
全員死ねッ  
今すぐ!!

死ッ!!!

死んじまえ!





いや  
なんで

被害者面  
してるん  
ですか？

なんで自分が愚者じゃないみたい願ってるんですか？  
公の場と卒業式っていう日に発言すべき善し悪しも  
わからないんですか？なんで人のせいにしてるんですか？  
大学のせいにしてるんですか？大学のせいにするなら  
他の大学にでも編入したり学校辞めてアシスタントするなり  
最初から他の大学を選ぶなりすればよかったじゃないですか  
そもそもマンガ家はみなマンガ学科を  
卒業しないとダメなんでしょうか？  
大学の学位はマンガ家に必要ないでしょう？

君は本当はマンガ家になりたいんじゃないじゃなくて  
ただ色んな人に認められただけですよ？  
絵を描いて、ただ人にほめてもらっただけで、  
中学や高校時代に、周りの友人にマンガ家になるとか宣言したんですか？  
違いますよね？ただ君は、普通の人よりも愛されたいという  
赤ちゃんのようなわがままを貫いてマンガを描いていただけですよ？  
多くのひとに愛されたいのに自分が認めてもらえないから、  
現実の不满からしかマンガを描くエネルギーが生めないのでしょうか？

確かにこの大学はくそで使えないかもしれないけど  
ただ怖いだけですよ？マンガ家になれないとき  
いざというときの学歴を残したいだけですよ？  
その気になればなんでもできますよね？  
自立もできずに親のすねをかじってるだけですよ？  
やさしい人たちの多くの許しを得て  
全ては自分で選択した道のくせに  
自業自得って言葉教えてあげましょうか？  
意味は自らつくった善悪の業の報いを自分で受けるということですよ

すーっ






君は人と向き合うことができないから、人が何を考えるかわからないから、自分がわかってもらえないと思ってマンガっていう表現を選んだくせに、「マンガならうまくいくはずだおれは人と違う」なんて自分だけ人とは違う特別な存在だと思って殻に閉じこもり、いつかマンガ家になって周りの友人や家族を見返そうとしてたんでしょ？ そんな自惚れで自分しか見えてないから読む読者の姿も見えないの？ マンガを何かを得るための道具として使ってる、だから賞もとれないしマンガ家なんて百年早いまさかこんな現実がくるなんて未来を疑いもせずに来たのでしょうか？

マンガって「最終手段」が失敗したら平気で人を傷つけて人に向き合う力がなくせに自分の無力さを怒りに身を任せてまあ原始人ですか？ プライドが高くて人を描くという本質すらマンガから見抜けない君が人に認められると思いますか？ もしかして特定の相手の気でも引こうと思いましたが？ それで誰かが君を愛すると思った？ 誰も振り向いてくれないよね？ 君が人を見てないんだから 言ってることわかるかな？ そんな浅知恵だからマンガを面白くすることもできないんじゃないの？



君は可哀想な人ですね 誰からも愛されず 人も愛せず いつも自分が可愛くしようがない

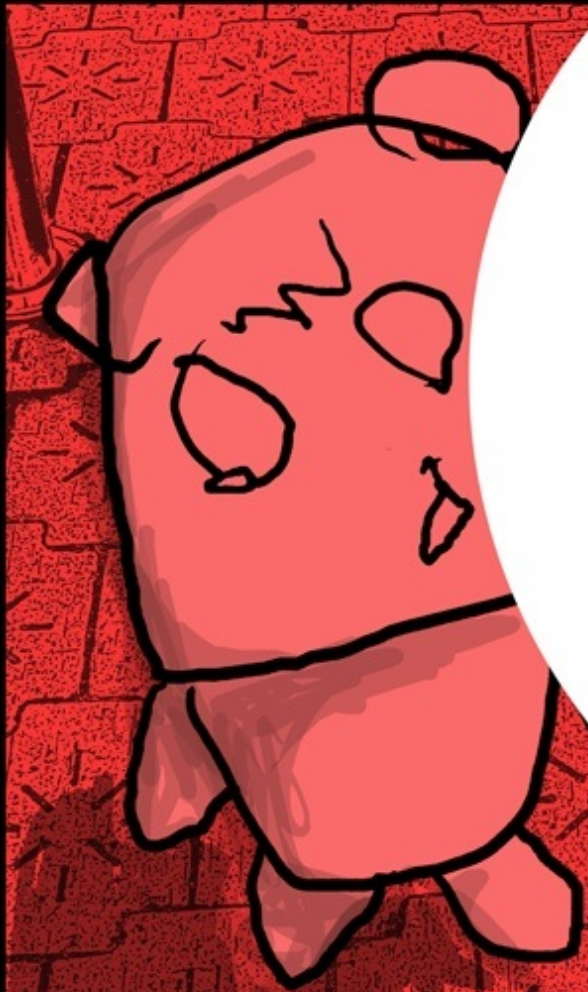
全てを周りのせいにして 自己陶酔した 悲劇の主人公をきどって、結局



君は誰かに 愛してもらいたい だけのただの 弱虫なんだよ



何のために  
生まれた？  
生き残るため





大学生生活  
お疲れ様

さようなら...

こんなものッ!!!

痛いッ



大学生生活  
お疲れ様

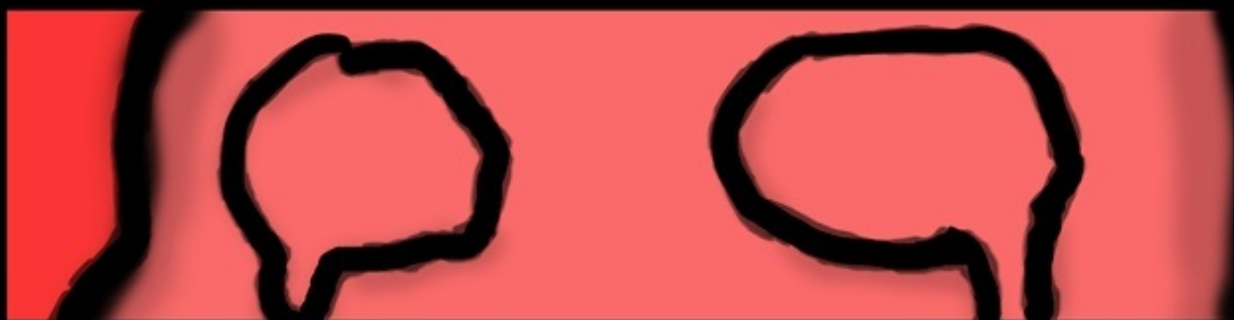
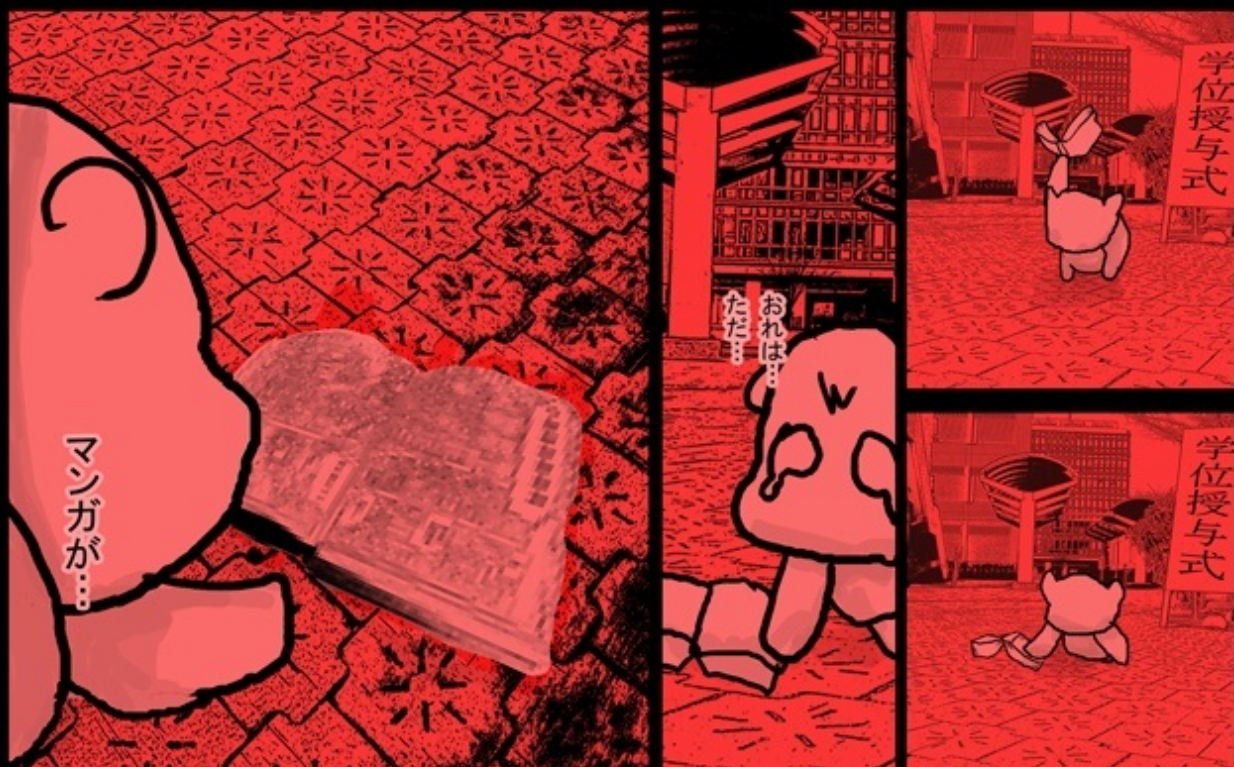
さようなら...

こんなものッ!!!

痛いッ

はっ





終